

<今日の説教のポイント 使徒言行録2章14～42節>

聖霊降臨直後に語られた説教 — 福音の神髄ここにあり！

1 論理一貫したペトロの説教！ — 神様がなされたことについて

人々は、ペトロの説教を聞いて変わりました。なぜでしょうか？ 説教の内容を整理しますと、次のようになります。

- ①(14-21) 聖霊が注がれることは昔から預言されていた。
- ②(22-23) 神様が遣わしたイエス様をあなたがたが殺してしまった。
- ③(24-31) しかし、イエス様は死んだままではあり得ない。
- ④(32-35) 神様がそのままにしておかれるはずがないから。そして、実際、イエス様は復活された。
- ⑤(36) だから、あなたがたは悟らねばならない、神様が送られた方を殺してしまったこと。

話の内容は論理一貫しています。人々は理解したのです、神様の業を、イエス様がどのようなお方であったかを。ですから、人々がこの説教を受け入れたことに不思議があるとすれば、ペトロの話の本気で聞いてみようという思いが起こされた不思議でしょう。このことは今の私たちにも与えられる不思議です。あとは、ではどうすればいいかです。

2 では、私たちはどうすればいいか？ それも聖書に記されている！

人々は自分たちが神様に対してとんでもないことをしてしまったことを悟りました。それで尋ねました。「兄弟たち、私たちはどうしたらよいのですか」(37)。ペトロは答えました、「悔い改めなさい。めいめい、イエスキリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます」(38)。「悔い改め」「洗礼」「罪の赦し」「聖霊」、ここにキリスト教の重要語句が揃って出て来ます(説明)。人々はこれらの言葉の本当の意味も色々な説明を受け(40)、理解し、洗礼を受けたのです(41)。このこともまた今の私たちにも説教を聞く中で起こることです。なぜなら、「この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」(39)、とされているからです。あとは、神様の不思議な恵みの業に感謝し、この神様を信頼して私たちの身を委ねようではありませんか！